

白鷗大学愛好会「nudge!」は栃木ゴールデンブレーブスと連携して地域活性化に取り組むなか、ペットボトルの分別廃棄促進プロジェクトを進めてきました。「海洋プラスチックごみ」などのプラスチック問題が深刻化する事態を踏まえ、ペットボトルをリサイクルし、プラスチックごみを削減させることで環境改善を図る狙いがこのプロジェクトには込められています。

- 促進
 - ゴミ箱に工夫を加え、分別廃棄を促す
- 集計
 - 分別率100%を目指す「本体・ラベル・キャップ」
- 資源化
 - 回収したペットボトルをリサイクルする
- 環境改善
 - プラスチックごみ削減 ※最終目標

【活動内容】

ペットボトルの「**本体・ラベル・キャップ**」の完全分別を達成するために、1) ゴミ箱の形態を工夫し、さらに、2) ナッジ・メッセージ（写真、文章など）を添えました。それぞれのケースで分別率を集計し、分別率100%を達成する理想の形を模索しました。



③透明ゴミ箱(写真)



④透明ゴミ箱(文章)

知っていましたか？
私たちは1週間でクレジット
カード1枚分のプラスチック
を食べています！

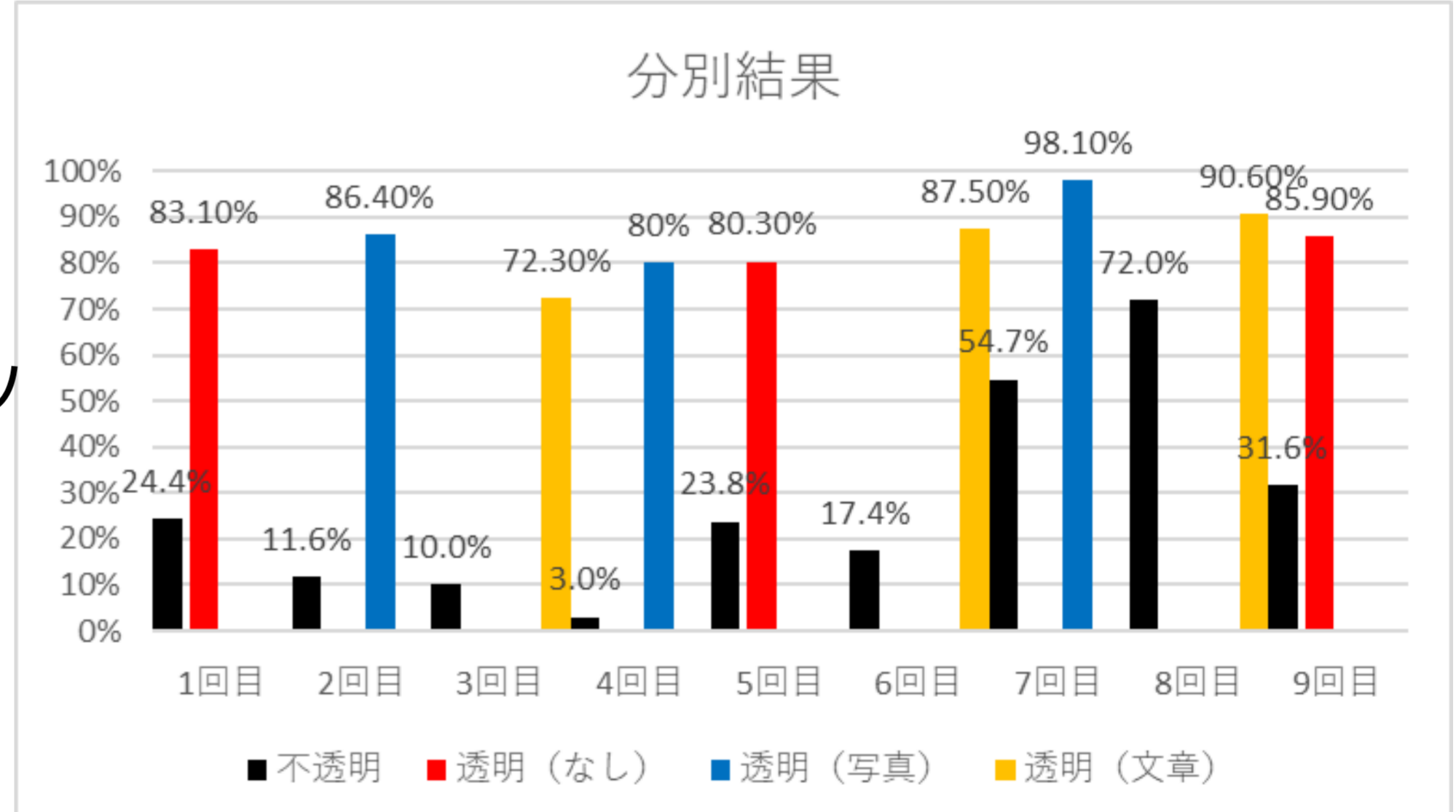


2050年には、海の中の海洋プ
ラスチックごみの総重量が魚
の総重量を上回ると予測され
ています！

【集計結果】

透明ゴミ箱がすべて8割を超えているのに対し、不透明ゴミ箱は軒並み20%前後にとどまりました。透明ゴミ箱を活用すべきことは明らかです。メッセージについては、その種類による明確な違いを見出せませんでした。透明であるというゴミ箱の形態こそが分別率を左右したようです。

ともあれ、**分別率100%**を達成し、継続することこそが本プロジェクトのゴールとなります。そのためにも、実際にリサイクルした商品（Tシャツなど）を販売し、環境配慮行動をした消費者が、その成果を具体的に実感できるように工夫すべきではないでしょうか？



	合計分別率	本数
①不透明	26.4%	251/951
②透明（メッセージなし）	83.8%	239/285
③透明（写真）	88.5%	193/218
④透明（文章）	81.8%	375/458
⑤透明（ポスター）	89.4%	220/246